

# 骨肉腫肺転移再発例の予後因子解析および予後予測モデルの開発に関する多施設共同研究 —骨軟部肉腫治療研究会(JMOG)多施設共同研究— に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年7月10日～2021年5月7日

## 〔研究課題〕

骨肉腫肺転移再発例の予後因子解析および予後予測モデルの開発に関する多施設共同研究  
—骨軟部肉腫治療研究会(JMOG)多施設共同研究—

## 〔研究目的〕

骨肉腫の転移・再発例において転移病変の完全切除ができた症例に対して化学療法を行うことが有効かどうかはわかっていません。本研究の目的は日本骨軟部肉腫治療研究会および海外との国際共同研究の枠組みにより、1) 骨肉腫肺転移症例を振り返り、予後因子解析を行い、予後予測ノモグラムを作成すること、2) 転移病変の完全切除が可能な症例については、補助化学療法が必要かどうかについて検討を行うことです。

## 〔研究意義〕

この病気について正確な情報を公表・共有することで、将来この病気になった方に、正確な情報を提供することが期待されます。

## 〔対象・研究方法〕

1995/1/1～2016/12/31 にこの病気の手術後に転移が生じた方を対象に、性別・性別などの基本情報、治療成績(化学療法の有無とその組織学的効果や放射線療法の有無)などを検討します。

## 〔研究機関名〕

特定非営利活動法人「骨軟部肉腫治療研究会」の参加施設による多施設共同研究です。

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究で得られた全ての情報は匿名的に処理されたあと、国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 川井章が取りまとめます。研究以外の目的でこの情報使用されることはありません。

## 〔その他〕

研究グループ及び本学の研究組織参加者には記載すべき経済的な利益関係や利益相反はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学整形外科学講座 助手 佐藤 健二

研究分担者： 帝京大学整形外科学講座 河野 博隆、阿部 哲士、時崎 暢、藤沼 涉

住所： TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7234]